

令和3年中の火災・救急・救助件数について(速報値)

四日市市消防本部

令和3年1月1日～令和3年12月31日までの1年間に四日市市消防本部管内（四日市市、三重郡朝日町及び川越町）で発生した火災・救急・救助件数は次のとおりです。

- 火災発生件数 74件（昨年より－16件）
- 救急出動件数 14,409件（昨年より＋806件）
- 救助出動件数 163件（昨年より＋33件）

1 火災発生状況

(1) 火災発生概要

令和3年中の火災は74件で、前年の90件と比較して16件の減少となりました。

令和3年中の火災種別では、「建物」火災が37件で全体の（50.0％）で最も多くなりました。「建物」火災の内、住宅（共同住宅等を含む）が、23件で前年の24件と比較して1件の減少となりました。

次いで「その他」火災24件（32.4％）、「車両」火災は12件（16.2％）、「林野」火災は1件（1.4％）、「船舶」火災は、発生していません。

月別発生状況は、2月が13件と最も多く火災が発生し、次いで11月の11件となっています。一方、9、10、12月が2件と最も少なくなっています。

過去5年間の火災発生件数

種 別	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 ／令和元年	令和 2 年	令和 3 年
建 物	34	63	60	50	37
車 両	11	18	8	11	12
船 舶	0	0	1	0	0
林 野	7	2	3	1	1
そ の 他	41	27	20	28	24
計	93	110	92	90	74

※「その他」とは「枯草、ごみ集積場などの火災」等

(2) 出火原因

出火原因は、「放火」（放火の疑いを含む。以下同じ）が9件で、8年連続の第1位となっています。次いで、「たき火」が6件、「たばこ」「こんろ」「ストーブ」が5件となっています。

過去5年間の主な火災原因

年別	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 ／令和元年	令和 2 年	令和 3 年
1 位	放火 17 件	放火 17 件	放火 14 件	放火 17 件	放火 9 件
2 位	たき火 13 件	たばこ 10 件	たばこ 9 件	たき火 8 件	たき火 6 件
3 位	たばこ 7 件	たき火 7 件	たき火 8 件	たばこ 7 件	たばこ こんろ ストーブ 5 件

(3) 火災による死者

火災による死者は、2 名発生し、前年より 1 名の増加となっています。

(4) 火災による負傷者

火災による負傷者は、13 名発生し、前年より 2 名の増加となっています。

(5) 火災による損害

火災による損害は、火災件数が 16 件減少し、建物火災についても 13 件減少していることから、前年より大幅に減少する見込みです。

過去5年間の損害額 (千円)

年 別	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 ／令和元年	令和 2 年	令和 3 年
損害額	87,689	158,292	481,993	290,017	<u>未確定</u>

2 救急出動状況

令和3年中の出動件数は14,409件で、前年の13,603件と比較して806件の増加となりました。

事故種別では、「急病」が9,702件(67.3%)で最も多く、次いで「一

般負傷」が2,024件(14.0%)、「交通事故」が1,058件(7.3%)、「転院搬送」が1,044件(7.2%)となっています。なお、「急病」は、昭和47年以降から毎年連続して事故種別の第1位となっています。

過去5年間の救急出動件数

種 別	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 ／令和元年	令和 2 年	令和 3 年
急 病	9,377 (64.9)	10,655 (67.0)	10,389 (66.7)	8,975 (66.0)	9,702 (67.3)
交通事故	1,373 (9.5)	1,408 (8.8)	1,259 (8.1)	1,103 (8.1)	1,058 (7.3)
一般負傷	2,056 (14.2)	2,144 (13.5)	2,126 (13.6)	1,990 (14.6)	2,024 (14.0)
転院搬送	990 (6.9)	1,064 (6.7)	1,127 (7.2)	965 (7.1)	1,044 (7.2)
自損行為	125 (0.9)	94 (0.6)	124 (0.8)	128 (0.9)	113 (0.8)
労働災害	175 (1.2)	163 (1.0)	171 (1.1)	131 (1.0)	155 (1.1)
加 害	59 (0.4)	59 (0.4)	68 (0.4)	65 (0.5)	55 (0.4)
運動競技	114 (0.8)	101 (0.6)	124 (0.8)	85 (0.6)	99 (0.7)
その他	175 (1.2)	222 (1.4)	197 (1.3)	161 (1.2)	159 (1.1)
計	14,444	15,910	15,585	13,603	14,409

※ () 内の数字はその年の出動件数に占める比率(小数点第2位を四捨五入)

※「その他」とは「火災」「水難」「医師搬送」「資器材搬送」等

3 救助出動状況

令和3年中の出動件数は163件で、前年と比較して33件の大幅な増加となりました。

事故種別の内訳としては、「建物等の事故」が67件(41.1%)と昨年に引き続き最も多く、次いで「交通事故」が54件(33.1%)、「水難事故」が9件(5.5%)、「火災」が4件(2.5%)と続いています。

過去5年間の救助出動件数

種 別	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 ／令和元年	令和 2 年	令和 3 年
交通事故	65	47	57	50	54
建物事故	36	33	44	52	67
水難事故	4	10	6	7	9
火 災	4	13	4	1	4
機械事故	2	1	1	0	3
そ の 他	29	17	19	20	26
計	140	121	131	130	163

※「その他」とは、河川敷等への転落、車内への閉じ込め等